

平成 29 年 2 月 8 日（水）に開催した平成 28 年度第 11 回公立大学法人静岡文化芸術大学役員会の結果は次のとおりである。

## 1 議案

### (1) 第 1 号議案 寄附金の取扱い及び基金の設置に関する諸規定の制定について

#### ア 趣旨

事務局から、これまで「寄附受納事務実施要領」により対応してきた外部からの寄附の取扱いについて「寄附金等取扱規程」を制定し、手続きを定めることとしたことが説明され、また、修学支援や教育研究等支援の基金設置についても「基金規程」を定めることが説明された。

#### イ 主な意見・質問（回答）

・これまでの大学への寄附金の実態はどうか。（地元企業からの奨学基金の受入れや寄附金を受けて冠講座の開設、図書購入などの実績がある。）

#### ウ 審議結果

審議を踏まえ、議決された。

### (2) 第 2 号議案 英語特任講師の採用について

#### ア 趣旨

事務局から、来年度 4 月採用予定の英語特任講師の採用候補者について説明があった。

#### イ 審議結果

審議を踏まえ、議決された。

### (2) 第 3 号議案 非常勤講師の委嘱について

#### ア 趣旨

事務局から、非常勤講師 6 名の委嘱について説明があった。

#### イ 主な意見・質問（回答）

・本学の非常勤講師の割合はどうか。（本学の非常勤講師の数は国公立大の平均的な割合と考える。カリキュラム改正後非常勤講師は 1 割削減している。また、大学の根幹をなすような分野については、専任の教員が担当している。）

#### ウ 審議結果

審議を踏まえ、議決された。

## 2 報告事項

### (1) 報告事項 1 大学改革支援・学位授与機構の認証評価結果（案）の概要について

事務局から大学改革支援・学位授与機構から 1～10 の認証評価点検項目（基準）に基づく評価結果の案が示され、優れた点として「実践演習科目」の効果的な実施等が、一方、改善を要する点として大学院文化政策研究科の入学定員が充足されていない等の指摘があったことが報告された。合わせて、当該評価案についての意見申立は 2 月 10 日が期限となるが、本学としては、特段意見申立はしないことが報告された。

### (2) 報告事項 2 文化政策学部「観光学科（コース）」及びデザイン学部「匠領域」の設置の取組について

高田理事より、平成 28 年 2 月に示された「観光学科」設置の案について、本学で検討を重ね、学部再編の方針として「観光学科（コース）」の設置とデザイン学部「匠領域」

の設置を検討していることが説明された。

(3) 報告事項3 平成29年度一般選抜の志願状況について

事務局より平成29年度一般選抜の志願状況について説明があった。前期日程の志願者数は前年比96人減の825人であった。今年は隔年現象の下がり年に当たるが、減少幅が少なく抑えられたのは、広報等を積極的に行ってきた効果の現れと思われるとの説明がされた。